

今年度のスキーム

改善の方向性

- ①目的
- **成果を重視**した効果的・効率的な都政運営を推進
 - 都民への **説明責任**を徹底
- ②評価対象（評価単位）
- 見える化改革の事業ユニットにおける「施策」を対象
 - 各局 1 ユニットを対象に平成31年度から実施
- ③成果指標・目標の設定
- 施策ごとに、**成果（アウトカム）**に着目した、可能な限り定量的な指標と目標値を設定

都政改革の3原則を踏まえた、**各局の政策・施策レベルでの自律的なPDCAサイクルを推進**

- 〔ブラッシュアップに向けた基本的考え方〕
- **施策のマネジメントの強化**（社会・経済状況の変化に迅速に対応し、成果志向の前向きな評価）
 - より分かりやすい情報発信の推進
 - 各局が **重要な施策とする 1～3 程度を毎年度選定**
- 〔施策の単位〕 部相当を単位とした一定程度の事業のまとまり
- 施策を実施することでどのような状態にすることを旨とするかを「**施策目標**」として明確化した上で、施策の分野に関する「**現状**」と「**課題**」を明示
 - 「**施策目標**」の実現に向けて達成すべき水準を定量的に測定できる「**成果指標**」としてアウトカム指標を設定。「**成果指標**」を設定できない場合等に、施策の成果の一部を測定できるアウトカム指標やアウトプット指標を「**補足指標**」として設定することができる。

政策評価制度の改善の方向性（2 / 2）

- ④評価内容
- 成果（アウトカム）指標の実績を基に、施策の**進捗状況を把握**
 - 有効性・効率性等の観点から、施策の**現状を分析**
 - 目標達成に向けた施策の**今後の方向性を提示**

- ⑤評価主体
- 各局が自ら評価**
※自己評価に際して、都政改革アドバイザー会議 政策評価分科会が意見・助言

- ⑥情報公開
- 評価シートを、都ホームページ上で公表

⑦その他

- 分析**
・指標の達成状況の点検・分析や、社会・経済状況や都民ニーズを踏まえた検証
- 今後の方向性の提示**
・「施策目標」の実現に向けてどのように施策展開をしていくかを提示

- 各局による自己評価**
- 外部有識者の意見・助言の視点を明確化
・成果指標・目標及び自己評価に関して、主に、政策評価の考え方や手順に従って適切に評価・記載されているかという視点から意見・助言

- 評価シートは、施策の構成や評価内容を論理的に分かりやすく示すために必要な項目のみとし、簡潔な記載を重視する。あわせて、要約版を作成・公表

- 政策評価の考え方を着実に浸透させるため、各局を対象に説明会（研修）を開催